

ACT 1 (導入・状況設定)

ACT 2 (展開・葛藤)

ACT 3 (結末)

第一ターニングポイント

ミッドポイント

第二ターニングポイント

主人公は
うだつのあがらない中年 TV カメラマン。
映画を嫌悪し、軽蔑していることが
言動の端々から。

家には、妻と息子。
妻は夫の仕事不熱心をなじる。
息子は映画に夢中。
いさかいが多い。

失踪を考える主人公。

友人の事故。
代役のカメラマンが必要。
上司：「職を失いたくなければやれ」

代役で駆り出されたアカデミー賞授賞式。
しづしづやる気なくセティング。

サボって煙草を吸っていると、
声をかけられる。

声の主はドレスアップした女性
=主人公の元恋人。過去～今のお互い。

ロマンスの予感？

彼女からの誘い。「映画の世界に戻ってこない？」
しかし、それに即答できない、
今の自分を全否定しきれない主人公。

主人公もスタッフに呼び出される。
彼女まわり、華やかな服・日のあたる場所。
主人公まわり、裏方のおっさんたち、日陰。

一瞬、まぶしそうに目を細める主人公。
うなずく。煙草の火を消す。スタッフに真剣な
まなざしで段どりを確認する。
素晴らしい撮影案をどんどん出す主人公。

撮影賞を見事に受賞する元彼女を、
主人公がカメラに収めた鮮やかなショットで
おしまい。

彼女が関係者に呼び出される。
主人公は、彼女が撮影賞での
ノミネート対象者であることを知る。

(120 枚のシナリオの場合、ACT1=30 枚、ACT2=60 枚、ACT3=30 枚——が、典型的な配分。)